

市民の目線で市民が発信する  
地域情報紙

# WEB SHIMIN

<http://shimin.camelianet.com/>

# SHIMIN PRESS

## 市民プレス：第28号

発行人 特定非営利活動法人  
「市民フォーラム」  
編集人 原 昭 二  
制作・印刷 デジタル工房  
FAX 048 (476) 9111  
〒353-0004  
埼玉県志木市本町 5-18-24

### 国家公務員宿舎移転・・・

### 新座市が候補地に

### 朝霞市は地元調整が課題

東京都内23区内の公務員宿舎の売却などを検討する、政府の宿舎の移転・跡地利用に関する有識者会議は、6月13日、最終報告書をまとめた。谷垣財務相に提出したが、移転先の一つとして、新座市内の国有地、新座市新塚五〇五六・一の米軍キャンプ跡地(新座総合技術高校、栄小学校隣地、約2.8ヘクタール)が明記された。

今回公けにされた、東京都内にある公務員宿舎の移転候補地には、新座市のほか、東京都小金井市、横浜市、川崎市が挙げられたが、かねて国から打診を受けていた朝霞市の国有地は、移転先候補地としての記載は外された。朝霞市は、すでに2003年6月、財務大臣の諮問機関である財政制度等審議会が、旧米軍基地を有効に活用するように求めた答申に沿って利用計画の策定を求められ、学識経験者らで作る「基地

跡地利用計画策定委員会」を発足させてシンポジウムを開催、市民懇談会を設置して、利用計画を練っていた。その矢先、公務員宿舎移転先の候補地となったことが伝えられ、計画策定の関係者は当惑していた。市議会は議長名で3月23日、小泉首相、谷垣財務大臣に当てる「意見書」を提出、キャンプ跡地は市の中心部にあり、貴重な緑地空間として地元優先の利用は、市民の長年にわたる悲願であり、地方自治体の意向を無視すること無く、再考されたいと訴えた。地元との調整が済ん

でないことを理由として、公務員宿舎移転先の候補地として朝霞市を記載することは見送られたが、6月16日、財務省関東財務局は朝霞市を訪問、移転に対しての市民の理解を改めて要請した。

6月26日、市議会の「基地跡地利用促進特別委員会」では、「二部地域での公務員宿舎受入れも検討する」との柔軟な考えが大勢を占め、また翌27日開かれた学識経験者らで作る「基地跡地利用計画策定委員会」には財務局側が出席、国家公務員宿舎の移転・跡地利用に関する有識者会議の報告書を配布、国の立場を詳細に説明した。策定委員会は、市民が望む「緑の公園」を目指しつつも、市の財政や国の要請を睨みつつ、「基本方針」の取り纏めに向うことになりそう。



写真は朝霞市内米軍キャンプ跡地のいま

### 和光市の

### 「新倉ふるさと民家園」

賑やかに華やかにオープン！

くす玉を割って開園式



江戸時代中期に建てられた「旧富岡家住宅」が、和光市下新倉2丁目に復元され、6月17日、開園した。当日10時から開園イベントが行われ、野木市長をはじめ、来賓の挨拶ののち、和光市指定文化財の「ささ獅子舞」が披露された。

和光市駅下車 徒歩7分  
和光市下新倉2の33  
☎:048 (467) 7575  
開園時間:9時AM  
15時PM  
休園:水曜日、毎月第四土曜日および年末年始  
入場無料

和光市指定文化財 旧富岡家住宅  
(平成15年11月3日指定)  
桁行九間一尺×梁間五間(16.66×9.12m)  
床面積:約46坪(151.98平米)  
木造茅葺寄棟屋根平屋建て

創建時期は17世紀後期(江戸中期)と推定され、埼玉県内では最古の部類にはいる。主な特徴は、床の間がないこと、ザシキは三間四方の九間づくりであり祭壇が奥行き浅い押し板であること、外壁に戸口が少ないこと、また土間柱などの柱を内部に多く建てるなど素朴な造りで、蛤刃の手斧痕が残る柱があることなど。

### イロハカップのネーミング

### 志木市いるは商店会記念事業

### 名前は「カップビー」

志木市の「いろは商店会」の創立三十年記念事業として、去る三月イロハカップ像を建立し、その名前を公募したが、5月20日、「ネーミングコンテスト発表会」が、川口信用金庫志木支店(本町2丁目)の前で、賑やかに行われた。応募総数は二六五通(一人一通)、市外からも応募があった。カップの制作者、寄贈者である志木市美術協会会長を務める内田栄信さんから5人の審査員の選考の結果、「カップビー」に決まった。応募者の一人、抽選で見事に10万円の商品券を獲得した小林なつみさんは、「カップとhappyを合わせてカップビーにしました」と語っている。

内田栄信氏 制作の河童は志木駅前 市内宗岡せせらぎの小径、柳瀬川の岸辺をはじめ各処で市民に語りかけている。市内の河童は14体になる。

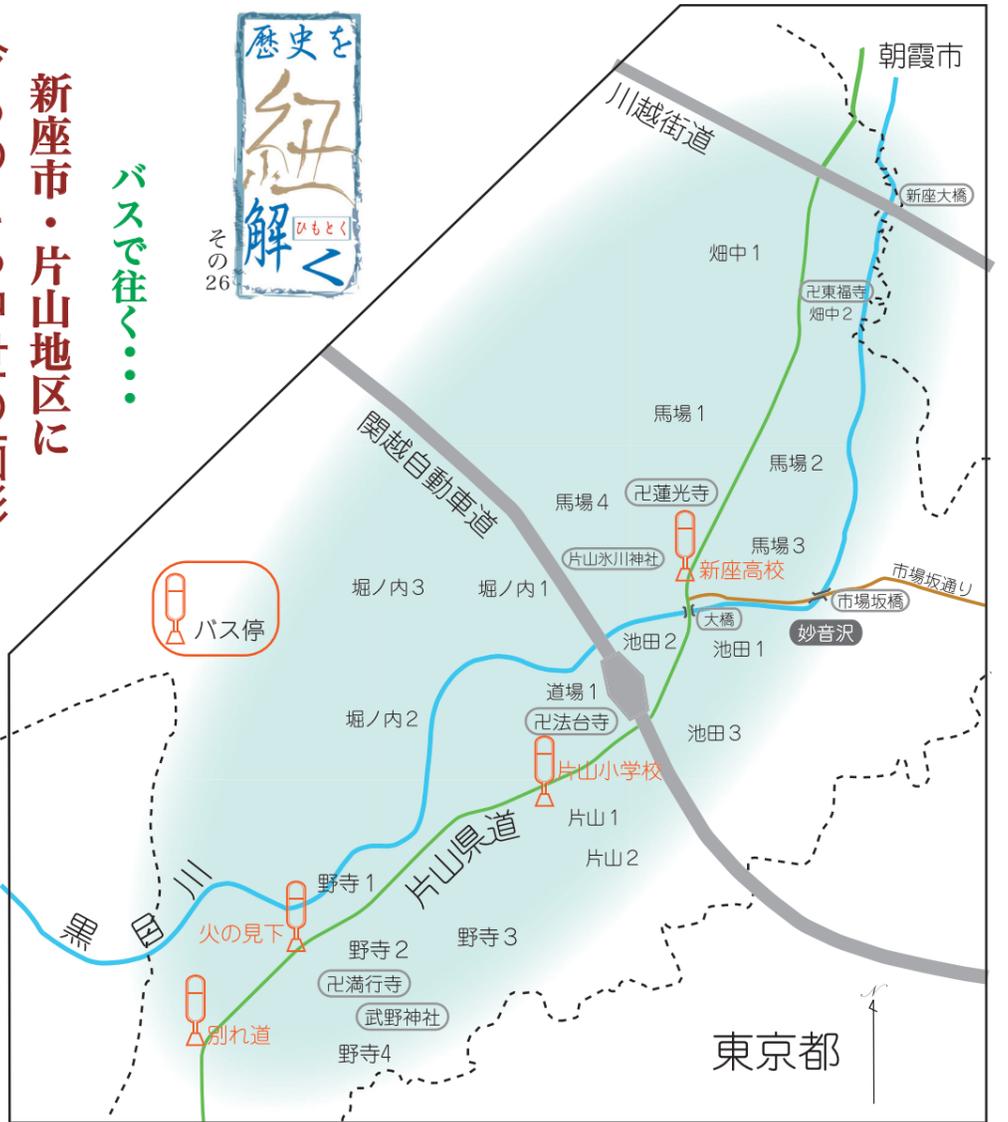


関東の同時期の農家としては最大規模を持ち、大きさと相まって歴史的価値が非常に高い貴重な建造物。



# 新座市・片山地区に 今ものこる中世の面影

バスで往く……



## 黒田川と妙音沢

片山は、都営小平霊園内の「さいかち窪」(東京都久留米市柳窪三丁目)を源流とする黒田川流域に広がる地区である。久留米市から流れてきた黒田川は新座市の東南部を蛇行し、市場坂橋あたりから北に流れの方向をかえ、やがて朝霞市に入り、ついには新河岸川に合流する。

## 安齋 達雄

朝霞市にはいると、単なる平野の川でしかないが、新座市の東南部では川の右岸沿いは高い崖でおおわれ、風景も荒々しい表情を見せている。市場坂橋手前の右岸の崖下には、「妙音沢」という名のきれいな湧水地帯もある。むかし目の不自由な琵琶弾きがこの地で弁財天から琵琶の伝授を受けた。その弁財天が奏でる琵琶

はこの世のものとは思われぬ妙なる音であったので、この地は「妙音沢」とよばれるようになったという。そのときの弁財天の姿をえがいた絵は、法台寺に寺宝として伝わっている。

妙音沢に行くには、朝霞台からひびりが丘駅北口行きのバスに乗って新座高校前で下車、そのまま徒歩で進行方向に進み、黒田川にかかる大橋を渡つたらすぐ左(東)側にまがり、川沿いに歩けばよい。崖下から崖上にかかる市場坂

橋の手前にある。いままでは水量も少なくなつたが、かつては崖下のあちらこちらに湧き水があり、その水で田畑が開かれていた。

片山という地名は、片側に山のような崖が連なつていてところから名付けられたものだから北口行きのバスに乗って新座高校前で下車、そのま

## 片山氏の行方

とはいうものの、ここ片山地区で活躍した片山氏については、分からないことだらけだ。第一この地を片山氏が治めていたことを示す文書すらなかつたのだ。その謎を解き明かすことになる文書は、遠く京都府船井郡和知町安栖里の片山家から発見された。いわゆる「丹波片山家文書」の発見である。結論から先にい

和知町には安栖里を中心に、いまでも片山姓の人たちが多くいるという。片山氏が移り住んだ例はこれだけではない。「片山秀康」は伊勢国(三重県)阿下喜御厨に、その子「片山景広」は伊勢国田切郷に移り住んでいる。実はもつと多くの移住が行われていたと思われる。

移住したとはいえ、片山郷にも本領をもつていた一族も多かつたと思われ。そうした一族はどこに拠点となる館を構えていたのだろうか。地名および地形から判断すると「堀ノ内」地区がもつともふさわしいように思える。片山の北半分は総鎮守である片山水川神社は馬場四丁目に鎮座しているが、「堀ノ内」地区に接しており、かつて近くに片山氏の館があつたと言われているという。しかし現在までのところ、館跡を示すものは何も発見されていない。

最初に時宗の寺院として創建した開基は他阿真教上人(二遍上人のあとを継いだ第二祖)で、創建年代は明らかではないが、十四世紀初頭のころであろう。本堂には木造の他阿上人坐像が安置されており、埼玉県指定の文化財となつている。

増上寺(東京都港区芝公園)は後陽成天皇や徳川家康の信任が厚かつた寺院だが、それは観智国師への信任の厚さからくるものであつた。江戸時代後半のことになるが、法台寺の裏庭には富士山(富士塚)がつくられていた。このころ江戸では富士信仰熱が高まつた。彼らは富士講とよばれる仲間集団をつくり、毎年数人ずつが交代で富士登山を行った。それと同時にミニチュア版の富士を地元につくり、実際に富士登山ができる状況にない人々と擬似登山体験をともにして、信仰心を高めたりした。法台寺の富士もそうしたものの一つで、片山富士として親しまれてきた。

## 片山の名刹、法台寺

法台寺は現在浄土宗だが、かつては時宗であつたという。浄土宗は法然上人が開いた宗派であり、時宗は一遍上人が開いた宗派であるが、「南無阿弥陀仏」という名号を唱えることによつて極楽往生を願う点では、互いに共通する教義である。

法台寺には二十六基の板碑があるが、そのうち十一基が埼玉県指定の文化財とされている。いずれも鎌倉時代から室町前期にかけてのもので、二メートルをこす大きさのものもある。うち八基は「南無阿弥陀仏」の名号が彫りの深い楷書体で力強く彫られている。

派を時宗(遊行派)から浄土宗(鎮西派)に改め、のちに増上寺の十二世住持となつた。十四世紀半ばから十五世紀半ばにかけての板碑がある。

法台寺は現在浄土宗だが、かつては時宗であつたという。浄土宗は法然上人が開いた宗派であり、時宗は一遍上人が開いた宗派であるが、「南無阿弥陀仏」という名号を唱えることによつて極楽往生を願う点では、互いに共通する教義である。

法台寺には現在浄土宗だが、かつては時宗であつたという。浄土宗は法然上人が開いた宗派であり、時宗は一遍上人が開いた宗派であるが、「南無阿弥陀仏」という名号を唱えることによつて極楽往生を願う点では、互いに共通する教義である。

法台寺には現在浄土宗だが、かつては時宗であつたという。浄土宗は法然上人が開いた宗派であり、時宗は一遍上人が開いた宗派であるが、「南無阿弥陀仏」という名号を唱えることによつて極楽往生を願う点では、互いに共通する教義である。

法台寺には現在浄土宗だが、かつては時宗であつたという。浄土宗は法然上人が開いた宗派であり、時宗は一遍上人が開いた宗派であるが、「南無阿弥陀仏」という名号を唱えることによつて極楽往生を願う点では、互いに共通する教義である。

法台寺には現在浄土宗だが、かつては時宗であつたという。浄土宗は法然上人が開いた宗派であり、時宗は一遍上人が開いた宗派であるが、「南無阿弥陀仏」という名号を唱えることによつて極楽往生を願う点では、互いに共通する教義である。

法台寺は現在浄土宗だが、かつては時宗であつたという。浄土宗は法然上人が開いた宗派であり、時宗は一遍上人が開いた宗派であるが、「南無阿弥陀仏」という名号を唱えることによつて極楽往生を願う点では、互いに共通する教義である。

講」と名づけられている。丸吉講築造の富士塚は十二基を数えるが、このうち志木市の田子山富士塚（県指定文化財）も丸吉講の築造になるものである。

**野寺の鐘**

片山地区の南西部、静かな緑におおわれた台地の中腹に満行寺（野寺二丁目）がある。法台寺から満行寺に行くには、参道入り口にあるバス停片山小学校からひばりが丘駅北口駅行きのバスに乗り、バス停火の見下で降りる。そこから南東（斜め左前）方向にあるのだが、複雑なので土地の人に聞いて歩きたい。

満行寺は真言宗智山派の寺院で、石神井（東京都練馬区）の三宝寺の末寺という。創建年代は不明だが、古来「野寺の鐘」の名歌で知られているから、かなり古くからあったものである。なお、旧野寺村は片山郷の十か村の一つであるが、現在もこの辺りの地名は野寺である。

言い伝えによると、この鐘について、平安時代の歌人在原業平も、次のような歌をよんだという。

武蔵野の野寺の鐘の

声聞けば 遠近人ぞ道いそぐらん（在原業平）

武蔵野の野寺から流れてくるうつくしい鐘の音を聞いてみると、あちらこちらで歩いている旅人たちも故郷や家を思い出し、急ぎ足になってしまふ、という意味であろう。

そうしたすばらしい鐘もいつしかなくなってしまう。火災のときに池の中に投入されたままなくなつたとも、鐘をぬすもうとした盗賊が見咎められたので、池の中に捨て去つたともいわれている。

その後十五世紀の末、関白家の二男で天皇家とも将軍家とも親しい道興准后という人物が諸国を巡り、朝霞・新座・和光・志木を含む旧新座郡にもやつてきた。これは天台宗系修験（本山派）の総帥で、准后とは太皇太后・皇太后・皇后の三后に準ずる待遇を与えられた人のことだ。かれは野寺にきてつぎのような歌をよんだ。

音に聞く野寺を問えば跡ふりてこたふる鐘もなき夕哉（道興准后）

うわさで聞いた有名な野寺を訪ねてきたが、それに応えてくれる鐘も

ない。さびしいことだ、という意味合いであろう。在原業平が新座郡に足を踏み入れたという確証はないが、道興准后が新座郡にやつて来たことは事実である。かれは京都に帰国後、旅先でよんだ和歌や漢詩をもとに『廻国雑記』という本をまとめている。

野寺の鐘は二度にわたって焼失または紛失し、三度目の鐘は戦時中に金属材として供出させられ、現在の鐘は戦後の新しいものである。

**旧八幡社、武野神社**

満行寺の斜め向かい側の高い位置には、武野神社（野寺三丁目）がある。

寺伝によれば、満行寺はもと現在の武野神社のある山上に、旧八幡神社と並んであったが、火災で焼失したので現在地に再建されたという。

現在の武野神社の地はもともと野寺村の鎮守の八幡社がおかれていたところで、明治四十一年（一九〇八）に栗原村の鎮守の浅間神社、石神村の鎮守の氷川社など五社をここに合祀して武野神社とした。



十一世紀後半、源義家が奥州遠征の時この旧八幡社にたちよつて戦勝を祈願した。そのさい、社殿を北向きにつくりかえたという。なお、本殿の向かって左側（東側）にある建物は旧本殿で、江戸時代の寛永年間（十七世紀前半）のものである。参道の脇下には湧水池があり、弁天社がおかれている。

バス停火の見下からの帰りのバスは、朝霞台駅行きと志木駅南口行きとの二系統がある。

新座市は、川越街道が通る大和田地区、野火止用水の流れる野火止地区、そして黒目川流域の片山地区の三地域から成り立っていると見える。そのうち、大和田・野火止地区は主として江戸時代の開発によるところが大きい。

それに対して片山地区には中世的な面影が強くのこる。表通りから一歩奥に入れば曲がりくねった細い道がつづき、どこに誘ってくれるのかと、期待を持たせてくれるものがある。



法台寺本堂



妙音沢  
市場坂橋



法台寺山門

法台寺の板碑（県指定文化財）



武野神社



武野神社拝殿



満行寺正面

